



2023年5月16日  
東日本旅客鉄道株式会社  
八王子支社

## 地域と連携した踏切事故防止の取組みについて

- JR東日本八王子支社では、「踏切事故<sup>ゼロ</sup>運動」の啓発活動を行っています。
- 中央本線「春日居踏切」(春日居町駅構内)では、車の無理な横断等により踏切の遮断棒が折られる事象が山梨県内の他の踏切と比較して多く発生しており、事故防止について笛吹市、笛吹警察署と連携して対策を実施しました。
- 地域の皆さまの声をもとに、踏切を通行するドライバーの皆さまに「踏切事故<sup>ゼロ</sup>運動」をもっと知っていただくため、山梨県警察本部、笛吹警察署とJR東日本八王子支社では連携して踏切事故防止の取組みを進めてまいりました。
- 春日居踏切、甲府駅にてJR東日本社員が「踏切事故<sup>ゼロ</sup>運動」の啓発活動を実施します。

### 1. 「踏切事故<sup>ゼロ</sup>運動」の啓発活動

啓発グッズ等を配布し、「踏切一時停止」や「非常ボタンの扱い方」などを訴求する活動を実施します。また、甲府駅コンコースでは、模擬機を使用した非常ボタンの体験会をおこないます。

(1)日時:5月17日(水) 13:30~14:30

場所:春日居踏切(春日居町駅から徒歩5分)

山梨県笛吹市春日居町別田359地先 中央本線 春日居町駅甲府側

(2)日時:5月17日(水) 15:00~16:00

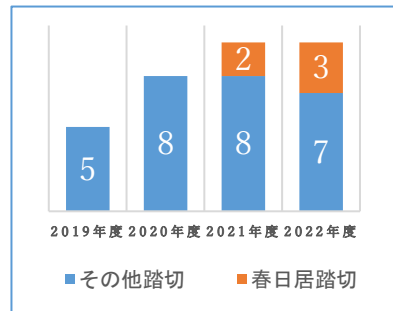
場所:甲府駅コンコース(改札前)

### 2. 中央本線「春日居踏切」の対策

警報機が鳴り始めた後に、ドライバーが踏切を横断し、遮断棒を折ってしまう事象が多いと沿線の事業者さまからご意見を受け、笛吹市役所、笛吹警察署と合同で現地調査を行い、通行するドライバーの皆さまに、踏切一時停止を促すために有効な対策を検討しました。



【中央本線 春日居踏切】



【山梨県内踏切遮断棒折損件数】

### (1) 道路のカラー舗装化等（笛吹市により設置）

笛吹市により、ドライバーの皆さまが踏切と道路の境目を認識しやすくするため、道路のカラー舗装や、停止線の引き直し、事前に踏切を認識できるよう「踏切あり」のペイント表示の対策を実施していただきました。



### (2) 遮断棒に垂れベルト設置（JR 東日本）

遮断棒が降下していることを認識しやすくなるほか、閉じ込められた場合でも車で押し上げて脱出できるように表示しました。



## 3. リーフレット等を活用した「踏切事故<sup>ゼロ</sup>運動」の周知

踏切通行時マナー向上のために作成したリーフレットと、踏切を安全に通行するための教育用DVDを活用していただきたく、山梨県警察本部にご協力をお願いしました。

現在、山梨県内の各警察署で配布していただいております。これらの取組みは山梨県警公式Twitterに笛吹警察署、JR 東日本合同の取組みとして紹介されています。



「踏切を安全に通行するために」DVD



「踏切事故<sup>ゼロ</sup>運動」リーフレット